

## 756号本塁打記念碑

1977年9月3日、王貞治選手はハंक・アーロン選手の大リーグ本塁打記録を抜く756号本塁打を後楽園スタジアムの右翼スタンドへ放ち、新記録を達成しました。翌年、その本塁打が着地した場所に記念の石碑が建てられ、4月1日の開幕戦の試合開始前に、王選手も参加して盛大に除幕式が行われました。中国産の大理石に王選手の756号本塁打達成時のバッティングフォームを浮き彫りにしたブロンズ板がはめ込まれているもので、右翼スタンドの指定席4席分を使って設置されました。

後楽園スタジアムは東京ドーム建設に伴い、1987年11月8日、読売ジャイアンツのファン感謝デー終了後に取り壊されることになりましたが、その際に、この記念碑は取り外されて野球体育博物館へ寄贈されました。1988年3月17日、東京ドームの開場と共にドーム内に移転して新装開館した博物館の「プロ野球の歴史」コーナーに展示され、再びファンの方々に見ていただけるようになりました。球場ではコンクリートにボルトで固定されていたのですが、当館では安全を考え、スタジアム当時とは少し違いますが、45度傾けた形で設置しています。



後楽園スタジアムに設置されていた当時の記念碑



今は野球体育博物館で展示されています